

## 小島軍造教授の略歴並びに業績

### 〔略 歴〕

- 1901年5月24日 群馬県高崎市に生る
- 1927年 東京帝国大学文学部倫理学科卒業，文学士
- 1928～31年 アレキサンダー・フォン・フンボルト基金によりベルリン大学，ミュンヘン大学に留学
- 1931～34年 日本大学，帝国女専講師（ドイツ語，哲学，倫理学）
- 1934～35年 京城帝国大学 講 師（倫理学）
- 1935～39年 同 助 教 授（ 〃 ）
- 1939～45年 同 教 授（ 〃 ）
- 1945～53年 高崎市立図書館長，労働委員，高崎市助役，群馬県教育長を歴任
- 1953～67年 国際基督教大学教授（教育哲学）
- 1961～62年 フルブライト研究員（ハーヴァード大学）
- 1962年 文学博士（東京大学）
- 1967～68年 国際基督教大学教授嘱託，大学院教育学研究科顧問
- 1968～70年 上武大学教授
- 1968～70年 国際基督教大学大学院兼任教授
- 1970～72年 同 大学院教授

### 〔著 書〕

- 「文化行政と世界観の問題」 群馬県社会教育協会・前橋1953年
- 「民主主義の倫理と教育」 理想社・東京 1962年
- 編著「民主主義教育の哲学的基礎づけ」 ICU教育研究所・東京1959年

### 〔主要論文〕

- 「シエラーの倫理学における幸福主義の問題」『哲学雑誌』・東京1928年2,3月
- 「人格概念の一考察」『速水博士還暦記念心理学，哲学論文集』・東京1937年

- 「教育哲学についての一つの主張」 『I C U教育研究1』・東京 1955年
- 「民主主義の根底にあるもの」 『 〃 2』・東京 1955年
- 「民主主義教育の哲学的基礎」 『 〃 3』・東京 1956年
- 「民主主義の基本理念としての人間の尊厳について」『〃 4』・東京 1957年
- 「民主主義と教説」 『教育研究6』・東京 1960年
- 「Mediumによる教育ということ」 『 〃 7』・東京 1960年
- 「民主主義における自由の問題」 『理 想』・東京 1961年1月
- 「教育の目的について」 『教育研究8』・東京 1961年
- 「観念・道徳・教育—プラグマティズムの一考察」『〃 10』・東京 1963年
- 「道徳教育の効果をめぐって」 『 〃 11』・東京 1965年
- 「道徳教育の目的としての民主的人間像」  
『学校教育全書15, 道徳教育』・東京 1966年
- 「道徳教育の効果と教育のゆくえ」  
『小林澄兄喜寿記念論文集』・東京 1966年
- 「自由放任から自由のための企画へ——主としてデューイに関連して——」  
『教育研究12』・東京 1967年
- 「『筋を通す』ということ——倫理と教育のかかわり——」  
『 〃 13』・東京 1968年
- 「民主化と道徳」 『現代教育研究14, 道徳教育』・東京 1968年
- 「民主化と倫理——状況に生きることの意味——」  
『上武大学論集I』・高崎 1969年
- 「民主主義を生かすもの——プラグマティズムと理想主義」  
『教育研究15』・東京 1971年